

## 令和6年度 病害虫発生予察情報(美濃地域:施設野菜) 1月予報

### 【イチゴ】ハダニ類

一部ほ場で発生が確認されています。同一ほ場内でも局所的な発生があるため、よく観察してください。天敵を導入したほ場で発生が多い場合は、天敵に影響の少ない薬剤による防除を徹底した後、追加の天敵を導入してください。

### 【トマト・キュウリ】タバココナジラミ

タバココナジラミは、トマト黄化葉巻病、トマト黄化病やキュウリ退緑黄化病などのウイルス病害を媒介します。施設内をよく観察し、発病株を確認した場合は早期に取り除き、本虫の防除を徹底してください。

### ○主な病害虫の発生状況及び今後の予測(1月)

作物	病害虫名	1月(予測)	発生状況及び今後の予測	12月(発生)	防除上の注意事項
イチゴ	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、予想される気温は平年より低いため、急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>灰色かび病</b> 発病果や枯死した果梗は見つけ次第除去し被害の拡大を防ぐ。</li> <li>・<b>ハダニ類</b> ほ場内をよく観察し、局所的な発生に注意する。また、防除薬剤は同一系統の連用を避ける。</li> </ul>
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、予想される気温は平年より低いため、急激な増加はないと予測される。	少	
	ハダニ類	やや少	発生量は平年より少ないが、一部ほ場では発生が認められている。今後、気温が平年より低いと予測されるが、ほ場をよく観察し、発生密度の高まりに注意する。	少	
	コナジラミ類	多	一部の調査ほ場で発生が認められる。今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	多	
トマト	灰色かび病	少	調査ほ場では発病は認められない。予想される気温は平年より低いため、急激な増加はないと予測される。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>コナジラミ類</b> 厳寒期でもほ場内では低密度で生息しているため防除を徹底する。</li> </ul>
	コナジラミ類	多	発生量は平年より多い。今後、気温は発生適温より低下するため急激な増加はないと予測される。	多	
キュウリ	褐斑病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種を栽培する場合は、発病に注意する。	少	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 12月調査は抑制栽培 1月予報は半促成栽培</li> <li>・<b>べと病・褐斑病</b> 暖房機や循環扇等を利用し、葉の結露時間を少なくする。また、罹病葉を取り除き、薬剤散布を行う。</li> <li>・<b>アザミウマ類(ミナミキイロ)</b> 厳寒期でも低密度で生息しているため、防除を徹底する。</li> </ul>
	うどんこ病	少	調査ほ場では発病は認められない。今後、予想される気温は平年より低いため、急激な増加はないと予測される。	少	
	べと病	少	調査ほ場では発病は認められない。罹病性品種を栽培する場合は、発病に注意する。	少	
	アザミウマ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	
	コナジラミ類	少	調査ほ場では発生は認められない。今後、気温は発生適温より低下するため、急激な増加はないと予測される。	少	

注1) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域

注2) 調査品種 イチゴ:濃姫、美濃娘及びび紅ほっぺ、トマト:かれん、キュウリ:まりん

### イチゴ ハダニ類

寄生密度が高まると葉はカスリ状となり、葉や果柄などにクモの巣状の網膜を張って群生します。

厳寒期では急激な増加はありませんが、気温の上昇に伴い生育は早くなり、適温である25℃では、約10日で世代を繰り返すため、防除が遅れるとすぐに増殖し、被害が拡大します。果実に寄生することはまれですが、多発した場合は着色異常が発生します。低密度時は葉裏に生息しており、カスリ症状も現れず、発生に気がつきにくいいため、よく観察し、発生が確認されたら、防除を実施してください。

### 数値データ (岐阜・西濃地域、中濃地域 12月調査)

作物	病害虫名	発生率	発生率(%)
イチゴ	灰色かび病 (発病果率)	0	(0.05)
	うどんこ病 (発病株率)	0	(0.0)
	ハダニ類 (寄生株率)	2.7	(22.9)
	コナジラミ類 (寄生株率)	2.0	(1.4)
トマト	灰色かび病 (発病果率)	0	(0.0)
	〃 (発病株率)	0	(0.07)
	コナジラミ類 (誘殺頭数)	13.1	(0.9)
キュウリ	褐斑病 (発病葉率)	0	(0.3)
	うどんこ病 (発病葉率)	0	(0.1)
	べと病 (発病葉率)	0	(7.0)
	アザミウマ類 (寄生頭数/100葉)	0	(0.0)
	コナジラミ類 (寄生頭数/葉)	0	(0.01)

注1) イチゴ、トマトは3ほ場(岐阜・西濃)、キュウリは1ほ場(中濃)の調査

注2) ( )内数値は平年値 果率、株率及び葉率は%

注3) トマトのコナジラミ類は施設内に設置した黄色粘着板での調査データ(12月1半旬~3半旬までの累計誘殺数)

### =施設栽培の病害虫について=

施設栽培では、作型や栽培環境などにより施設ごとに病害虫の発生状況が異なります。施設内及び周囲の状況をよく観察し、病害虫の発生状況に応じた防除を実施してください。

### =東海地方1か月予報=

(名古屋地方気象台 12月19日発表)

向こう1か月の気温は平年より低く、降水量は平年より少なく、日照時間は平年より多いと予想されます。平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他にも病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058)239-3161 FAX (058)234-0767



岐阜県病害虫防除所  
トップページ  
二次元バーコード